

# れきしみち

- 企画展「安城の今昔2 こよみとくらしー冬暖夏涼・季節道具ー」
- 連載「安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く4」
- 常設展の展示替えの紹介 (1)
- 4月～6月イベント紹介
- 連載「城址公園 万葉花ごよみ その二ー桜ー」  
さとのマルシェ紹介
- ぷらす珈琲店リニューアルオープン、市民ギャラリーよりお知らせ

2020.4  
No.116



## 特集：安城の今昔2 こよみとくらしー冬暖夏涼・季節道具ー



ぷらす珈琲店

# 4月1日リニューアルオープン

4月1日より「ぷらす珈琲店」が再オープン！  
メニューも一新し、より皆様にくつろいでいただける  
お店に生まれ変わります。

おすすめメニューの「土器ドキパンケーキ」や、安城市内に築かれた前方後方墳の形をイメージした「前方後方墳プレート」など、味にも見た目にもこだわったメニューをご用意しております。  
営業時間も17:30までに変更し、博物館を見た後でも注文いただけます。  
新しいぷらす珈琲店にぜひお越しください。



土器ドキパンケーキ 750円～(税込)  
ドイツ風パンケーキ「ダッチベイビー」を土器に見立てました。外はカリカリ、中はモチモチの食感が楽しめるデザートです。



前方後方墳プレート(ミニ) 850円(税込)  
「前方後方墳」をイメージした盛り付けのランチプレートです。1日に必要な野菜の量の約半分が摂れるヘルシーなメニューとなっています。



前方後方墳プレート(プラス) 1,250円(税込)  
「前方後方墳プレート(ミニ)」に、肉・魚料理をプラスしたヘルシーでボリュームのあるランチプレートです。  
※写真はすべてイメージです。季節や仕入れの状況により内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

### 安城市民ギャラリーよりお知らせ

市民ギャラリー特別展  
「『象書』を極める 手島右卿、山崎大抱、戸田提山」



手島右卿《崩壊》  
現代書の巨匠、手島右卿そしてその高弟である、山崎大抱、戸田提山それぞれが切り開いてきた現代書の独自の世界を代表作や資料をもとに紹介します。

- 【開催期間】 令和2年6月6日(土)～7月5日(日)
- 【時間】 9:00～17:00  
※6月6日(土)は開会式のため、11:00からの観覧となります。
- 【場所】 安城市民ギャラリー
- 【休館日】 月曜日
- 【観覧料】 300円(中学生以下無料)



安祥文化のさと 「安祥文化のさと」とは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>全館共通事項</b></p> <p>住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地<br/>休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)</p> | <p><b>安城市歴史博物館</b></p> <p>開館時間 / AM9:00～PM5:00<br/>TEL: 0566-77-6655 FAX: 0566-77-6600</p> | <p><b>安城市埋蔵文化財センター</b></p> <p>開館時間 / AM9:00～PM5:00<br/>TEL: 0566-77-4477 FAX: 0566-77-6600</p> |
| <p><b>安城市民ギャラリー</b></p> <p>開館時間 / AM9:00～PM5:00<br/>TEL: 0566-77-6853 FAX: 0566-77-4491</p>          | <p><b>安祥公民館</b></p> <p>開館時間 / AM9:00～PM9:00<br/>TEL: 0566-77-5070 FAX: 0566-77-6062</p>    |  |
- 公式HP、SNSもご覧ください  
【URL】 <https://ansyobunka.jp/>

企画展  
安城の今昔2

# こよみとくらし

とうだんかりよう させつどうく  
冬暖夏涼・季節道具

観覧無料

会期

令和2年  
4月25日(土)  
～6月28日(日)



伊勢暦

昔から「春夏秋冬」というように、日本には四つの季節があります。暖かい日差しや冷たい風、芽吹く緑や色づく紅葉と、私たちは季節の変化を肌で感じとり、目で見て四季の移ろいを知ります。季節にあわせて生活環境を変え、こよみで季節をあらわす言葉を確かめて、暮らしていました。

昔のこよみは、現在のカレンダーとは異なり、旧暦(太陰暦)で一年を表すものでした。農業が中心であった市域では、伊勢暦などが江戸時代から使用されていました。

現在の正月は旧暦でみると晩冬にあたります。一月三日前後に季節の変わり目である節分があるのは、旧暦でおよそこの時期に大晦日となるのに合わせたものです。今年の旧暦の大晦日は一月二十四日でした。旧暦でもまだ、春の模様がみられませんが、少しすると暖かくなってきます。



現在は住環境が整い、気密性の高い部屋はエアコンで温湿度調節が可能となりました。そのため、室内では季節を問わない生活が可能となりました。衣類も、冬の厚手のものから薄着でも暖かい衣類が開発されるなど、季節よりもファッションを優先にした着こなしが可能となりました。さらに食べ物も、冬に食べることができなかった野菜や、食べなかった食材なども容易に手に入れることができるようになりました。現在のこのような生活は近年に整えられたものです。

むかし、といっても今から六〇年程前の昭和三十年代までは、電化製品も整ってなく、季節の変化は生活環境の変化と密接にかかわっていました。そのような中では、季節にあった衣食住の生活に見合った物が多く使用されていました。

今回の企画展では、季節とそれにかかわる道具から、当時の暮らしを紹介いたします。

## 春の洗濯

寒い冬から春になるころは、こよみの上では、啓蟄や春分が節目となります。段々と暖かくなる時期です。

この時期の季節をあらわす生活習慣として、着物の洗張りや上げられます。これは、着物の糸を解き、反物の状態にして洗い、それを張り板で乾かしたり、反物を張って伸子(細い竹ひご)を打って糊付けして乾かす行為です。和服用が主な生活であった当時は嫁入り前に母から娘に方法が伝えられていました。春は衣類が干しやすいつ時期です。冬とは違い洗濯がしやすくなります。川や井戸端で洗濯板などを使って手洗いや足踏み洗いをしていました。洗濯は主婦にとって大変な家事でした。



伸子・張手

## 夏の涼

現在の六月下旬から七月中旬にかけては梅雨の季節になります。旧暦では夏の真ただだ中です。すでに五月中下旬は旧暦では夏になります。蠅が生活で気になる季節、いわゆるうるさい(五月蠅い)時期です。

## 秋の夜長

暑苦しい夏が終わり、秋分も過ぎると涼しい秋の季節が訪れます。日も短くなり、夜を過ごす時間が増えます。夜をより快適に過ごすための道具として、ここでは照明具を取り上げます。

江戸時代では、ロウソクや灯明皿に油を入れ灯す燭台や行灯が使われていました。明治以降には灯油を使用するランプが普及しました。



行灯

その後大正から昭和にかけて電気が普及したことで、電灯が利用されます。これは、昭和三十年代まで変わりませんでした。古くは手元を照らす程度でしたが、時代とともに徐々に部屋全体を明るくするものになりました。

## 冬の暖

今年の立冬は十一月七日です。このころから寒さが増し、暖を取る生活に変えていきます。

燃料には炭や練炭、薪を用い、火鉢や檜炬燵、学校では早いところではストーブが使用されています。携帯用には懐炉があります。また、心地よく寝るために、行火や、お湯を入れた湯たんぽを使用し、寝具も冬には厚めのものとなりました。



火鉢



檜炬燵

今回の「安城の今昔2」では、季節の移り変わりの中でこよみに合わせた暮らしの生活道具を中心に展示します。ぜひ歴史博物館へ足をお運びください。

人工的に風を送る団扇や、陰を作る葭簀などでこの時期をやり過ごします。涼を得る方法は戦前には電気が家庭に供給されていたため、一部では扇風機を利用していました。また、肉や魚などが腐らないように氷を使った氷冷蔵庫も利用されていました。



蠅帳

温湿度が上昇し、蒸し暑い季節になります。動植物の活動、育成が急激になり、蠅や蚊などの害虫が多く発生し不衛生でした。蠅帳に食べ物を入れ蠅がたかるのを防いだり、蠅取棒や蠅取り器などで駆除してました。夜は寝所に蚊帳を張り、蚊の侵入を防いでいました。



氷冷蔵庫



ランプ

### 記念講演会

暮らしの道具から歴史を読み解く

日時:5月16日(土)14:00~  
講師:久保禎子氏  
(一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員)  
定員:80名

### 歴博講座

夏のくらしと行事、風習  
日時:6月20日(土)14:00~  
講師:坂本晃基(本館職員)  
定員:80名

### 体験講座

柏餅づくり

日時:4月25日(土)10:00~12:00  
講師:杉浦ひろ子氏(安城エプロン会)  
参加費:500円  
定員:20名

箱寿司づくり

日時:5月30日(土)10:00~12:00  
講師:古居敬子氏(安城市食育推進会議委員)  
参加費:500円  
定員:20名

※体験講座は要事前申込。詳細はお問い合わせください。

### 展示解説

日時:5月10日(日)14:00~  
6月6日(土)14:00~

### イベント

季節の道具に触れてクイズに答えよう!

日時:4月25日(土)~6月28日(日)  
9:00~17:00(※休館日を除く)

関連イベント

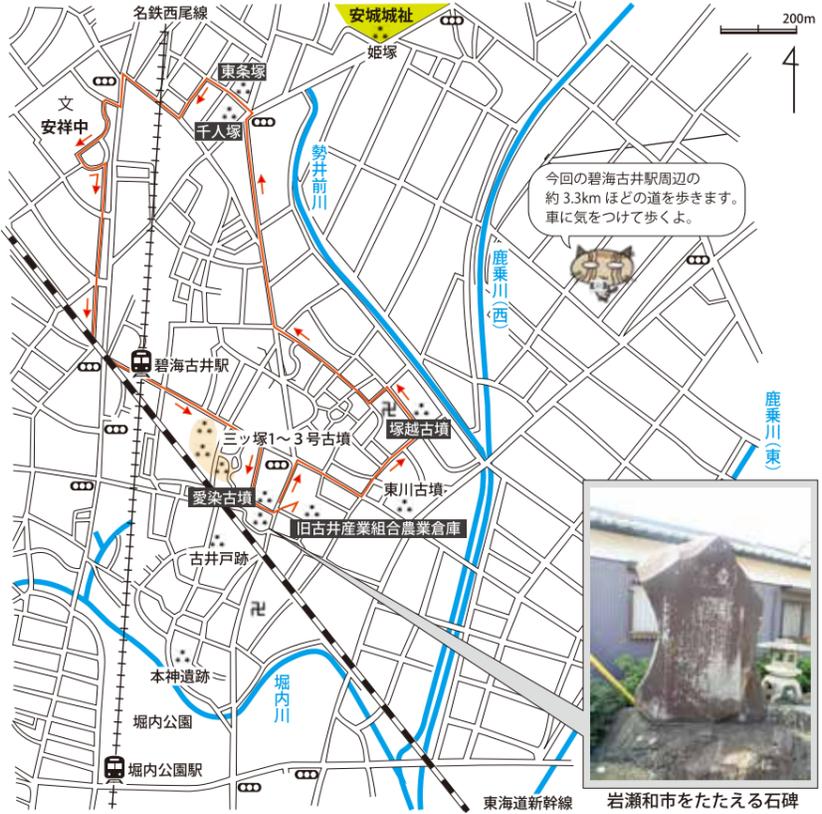
# 風を感じて歴史を歩く4

## —安祥中学校区①—

今回から二回にわたり、私の二番目の勤務校、安祥中学校の校区(その中でも主に安城南部小・祥南小学校区)の歴史を訪ねます。

### 旧古井産業組合農業倉庫と岩瀬和市

安祥中学校から南下し、碧海古井駅方面に向かいます。「愛染古墳(後述)を見た後に、「旧古井産業組合農業倉庫」に到着します。



岩瀬和市をたたえる石碑

今現在、JAあいち中央古井支店(古井町)がある、この場所の前身は古井産業組合です。はじめ大正四年(一九一五)に、古井信用販売購買利用組合として設立されました。同組合は、優良経営の産業組合として、産業組合中央会から表彰を受けました。初代組合長は岩瀬和市です。彼は、後に碧海郡購買販売組合連合会(丸碧)の会長も務め、安城更生病院の設立にも尽力しました。

初代の農業倉庫は安城南小から移築したものです。四角ポルトが使用されており、これは建物が明治四十年代頃までの建造物であることを示しています。安城南小の沿革史を基に推察すると、昭和十三年(一九三八)の校舎建て替えで不要になった北校舎の部を転用したのではないかと思われます。現在は初代倉庫は取り壊され駐車場になっています。今ある倉庫は二代目です。

### 古井古墳群

古井には、古墳だけでも前述の愛染古墳、三ツ塚一号一三古墳、東川古墳、塚越古墳と六基もあります。今回は、「塚越古墳」「愛染古墳」について説明します。

桜井古墳群の一つである塚越古墳は、昭和二十四年に地元有志の方々によって発掘されました。その墳形と副葬品から、桜井古墳群を前期古墳群と認識する定点となる古墳です。当時の調査報告では、前方後円墳とされていますが、その後の研究、調査



塚越古墳



愛染古墳

等から前方後円墳である可能性が指摘されるようになりまし。平成二十九年(二〇一七)の調査で、墳丘長は約四五メートルと考えられます。安城初の円筒埴輪のかげらも出土しました。しかし、前方後円形か前方後方形かは謎のままです。

昭和六十三年、「愛知県遺跡分布地図」に初出された愛染古墳は、古墳時代前期の円墳です。墳丘の東側は大きく削られています。墳頂に愛染明王を祀る愛染堂が建てられており、明治二十四年(八九二)に堂を墳頂に移築した際に、刀剣類が出土したと伝えられています。

その内の二つです。

東条塚は、天文九年(一五四〇)織田信秀・水野忠政の軍が安城城を攻めた際、城を守る松平長家の応援に駆けつけた東条松平(西尾市吉良町)の康忠が戦死した場所に築かれた塚であると伝えられています。また、千人塚は、この戦いを含め幾度となく繰り広げられた戦乱で、命を落とした者たちの遺骸を敵味方なく葬り、塚を築き松を植えた場所だと伝えられています。千人塚には、「安城八景」の一つとして選定し句を詠んだ仙風舎柳月(鈴木平兵衛)の句碑が建立されています。



東条塚



千人塚と安城八景石碑

### 東条塚と千人塚

安城南小の校区に向かって北上すると、交差点付近に東条塚と千人塚があります。戦国時代に安城城付近で織田氏と松平氏・今川氏が西三河南部の領有を巡って何度も戦いました。その安城合戦で討死した者たちを弔う塚を十三塚と総称していますが、

## 新たな安城の歴史を知る

### 常設展の

### 展示替えの紹介(1)

昨年九月から今年三月まで、歴史博物館は改修工事のため休館していました。四月二日からの常設展示の観覧にあわせて展示替えをしました。

博物館の展示室は、光(赤外線・紫外線)や温湿度、防虫・防霉に配慮した環境を保っています。しかし、いくら気をつけていても長期にわたり展示をすれば、資料に大きなダメージを与えてしまうことは言うまでもありません。展示室内での飲食禁止や、撮影でのフラッシュ禁止は、資料のダメージを防ぐためでもあります。

さらに、多くの資料を保管している収蔵庫には一〇万点を超える資料が保管されています。展示室は数百点程度なので、ほとんどのものをお見せすることができていないのです。

そのようなことから、この機会により多くの資料を公開したいと考え、新たに収蔵した資料の展示替えを行いました。展示替えをした所は左の九か所になります。

- ① 顔のメッセージ(西からの風)
- ② 古代集落(西からの風)
- ③ 安城城と松平氏の発展(東からの風)
- ④ 近世村の仕組み(百姓の世界)
- ⑤ 茶屋コーナー(百姓の世界)
- ⑥ 文人・丈山の世界(村の文化)
- ⑦ 俳諧・狂俳の世界(村の文化)
- ⑧ 三河万歳(くらしのなかの祭と芸能)
- ⑨ 長屋コーナー(町のくらし)

ここでは、このうち、中世から近世の③④⑤の内容について紹介します。

### 3 安城城と松平氏の発展

徳川家の直系の祖先にあたる安城松平氏を紹介したコーナーです。あまり一般には知られていませんが、岡崎に拠点が移る前の三〇年間は、松平一族の拠点が安城城にありました。安城城は当博物館がある場所です。今回は昨年度に作成した古文書の複製を加えて、安城松平氏の勢力が西三河地域に伸張していく様子をより詳細に解説します。

### 4 近世村の仕組み

江戸時代の村の姿をあらわすコーナーですが、新たに収蔵した村の古文書を紹介しました。江戸時代の村は、ひとつの村が現在の地方自治体のひとつにあたります。市内の村はおよそ三九か村ありましたが、数千人規模の大きな村から百数十人程度の小さな村まで様々でしたが、それぞれしっかりと村政運営をおこなっていました。



村の諸商売人書上(上小川村文書)

なっていました。今回は小川村(現在の小川町)の古文書になります。中学校の歴史教科書には、村には地方三役(村方三役)の名主(庄屋)・組頭・百姓代と

### 5 茶屋コーナー

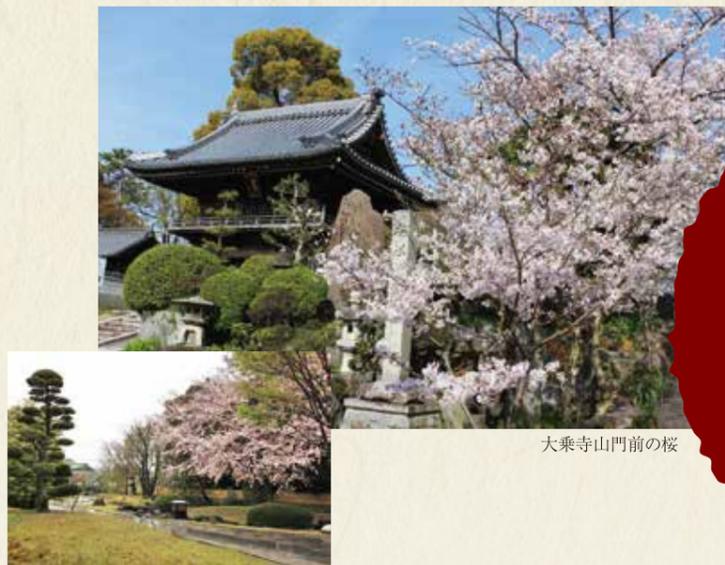
このコーナーは、東海道の岡崎宿と池鯉鮒(知立)宿との間にあった通称大浜茶屋(現在の浜屋町・宇頭茶屋町)の蕎麦切り屋(茶屋)をイメージした建物の中にあります。主に江戸時代から明治にかけての交通や旅人をテーマにしています。今回は「道中名物、名産品」に関わる資料を展示しました。東海道は多くの旅人が行き交う大街道であり、宿場や沿道には食事を提供する場所である茶屋が多くありました。自然と名物ができ、街道周辺の名産品も紹介されるようになり、旅の楽しみのひとつとなりました。それらを名所図会や古文書で紹介しています。

文責:三島信



鳴海有松校「東海道名所図会」

城址公園内では、県道七八号線(安城幸田線)沿い、歴史博物館正面入口近くにある安祥城三の丸跡に桜があり、見頃になると多くの人たちが訪れています。また、お隣の安祥寺の山門前には「安祥城址」の石碑と近くには桜があり、花見の時期には絶好の写真スポットになっています。



大乗寺山門前の桜



安祥城三の丸跡の桜

# 城址公園 万葉 花ごよみ その二ー桜ー

安祥城址公園に咲く万葉集ゆかりの花や植物たちを紹介していきます。

城址公園のある安祥城址には、いくつか桜スポットがあります。この桜の品種はソメイヨシノです。花見といえば桜をさすのは現代では当たり前ですが、万葉集が詠まれた奈良時代の花見といえば梅の花でした。年の初めに春の訪れを告げる梅の花の歌は二〇首にも及びました。それに比べて桜の花の歌は四〇首でした。これが逆転するのは、平安時代になってからのことです。江戸時代には桜の品種改良も行われ、幕末には花だけが先に咲くソメイヨシノが登場しました。ソメイヨシノは現在日本各地の花見の名所で見られますが、万葉集が詠まれた頃の桜は葉が出るのと一緒に花も咲く山桜でした。また当時は桜の花(桜花)と表現していました。

見わたせば、春日の野辺に、霞立ち、  
咲きにほへるは、桜花かも (作者未詳)

春日の山裾の野原一帯に、輝くように咲き誇る桜の情景が目につか  
びますね。  
反対に桜の散り際を詠んだ歌もあります。

桜花、時は過ぎねど、見る人の、  
恋ふる盛りと、今し散るらむ (作者未詳)

「桜花は、まだ散るときではないのに、愛でてくれる人がいるうちに  
散ろうと桜が思い、今こそ散ってしまうでしょう」

春さらば、かざしにせむと、我が思ひし、  
桜の花は、散りにけるかも (作者未詳)

「春になったら、髪飾りにしようと思っていた桜の花は、散ってしまった」結婚を申し込んでいた女性が死んでしまったことを嘆き悲しむ歌です。  
散る花を惜しんだもの、世の無常や人の死を桜に例えたもの、万葉集の桜の歌には、花の散り際の儚さや潔さを歌に託したものがいくつもあります。桜が散りゆく光景に心揺さぶられるのはどの時代も同じようです。



## さとのマルシェ

飲食のキッチンカーから雑貨やクラフトの店舗まで集うマルシェを毎月開催!

### 開催スケジュール

5月5日(火・祝)	10:00	8月28日(金)	12:00~20:30 ※この3日間は ナイトミュージアム開催中
6月6日(土)	15:00	8月29日(土)	
7月25日(土)		8月30日(日)	
		9月19日(土)	10:00~15:00

場所/安祥城址公園  
協力:FEEL FREE

お問合せ先:安城市歴史博物館 TEL:0566-77-6655

※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となる場合があります。ご了承ください。

### 開館30周年記念特別企画

## ポスターで振り返る 安城市歴史博物館の 30年

30th Anniversary

平成3年2月の開館から開催されてきた企画展・特別展のポスターを展示して、歴史博物館の足跡をご紹介します。

4月1日(水)▶4月12日(日)  
9:00~17:00 (入館は16:30まで)

観覧無料

場所 企画展示室 休館日 月曜日

### 懐かしの“車”写生大会&写真撮影会

安祥城址公園に国内外の懐かしくて珍しい車が集まります!丸くくてかわいい車を近くでじっくり見ながら、写生したり、写真撮影したりしませんか?

令和2年  
4月18日(土) 10:00~15:00  
雨天時/4月19日(日)に順延

参加無料

監修/石井成久氏

展示車(予定)  
●トヨタ2000GT ●三菱ギャランGTO ●ロータス ●オースティン7  
●ホンダT360 ●モーガン ●シルバービジョン ●スバル360  
●ミゼット ※車のご機嫌により、展示車に変更になる場合があります。

写生大会  
【対象】小学生以下(※保護者同伴)  
【持ち物】水彩絵の具、クレヨン等の道具、画板、クリップ  
※画用紙は、会場で配付します。  
※参加いただいた方の作品は施設内で展示させていただきます。審査、表彰します。  
※写生大会は大人の方も参加いただけますが表彰対象とはなりません。

写真撮影会  
【対象】どなたでも  
【持ち物】カメラ

## よろいをきてみよう! 鎧の試着会



乳児から大人の方まで着られます

【日時】5月3日(日)・4日(月・祝)・5日(火・祝) 10:00~15:00  
【申込】3日、4日は4月10日(金)9:00より先着順にて要申込み  
1日15組まで(※1組最大5人までの試着可能)  
5日は申込不要。当日9:30より受付(※受付終了15:00)  
【場所】歴史博物館エントランスホール

## ノスタルジックで美しいサウンドと軽やかな舞 さとの音楽祭

アイランドの伝統音楽と  
アイリッシュダンス

【日時】5月5日(火・祝) 13:00~15:00  
【場所】安祥城址公園 石舞台(※雨天時は安城市民ギャラリーエントランス)  
【出演】長屋梨沙(アイリッシュハーブ)、Lyra(アイリッシュダンス講師)、Satoshi(フズーキとフィドル)、今井日出男(ハンマーダルシマー)ほか

同時開催  
さとのマルシェ 【日時】5月5日(火・祝) 10時~15時  
【場所】安祥城址公園

お問合せ先:安城市歴史博物館 TEL:0566-77-6655  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となる場合があります。ご了承ください。